

# オーノ にぎわい ワークショップ

みんなで盛り上げよう！

NEWS

2023年5月21日(日)

第3回ワークショップ  
at  
南区合同庁舎



## ついにチームが動き出します！

相模原市は、第1ステップとして、相模大野駅周辺地区を対象に、地域住民や事業者の皆さんが主体となって実現する「まちづくりのアイデア」を検討する「みんなで考えよう！オーノまちづくりワークショップ」を実施しました。ワークショップでは、参加者自らがまちを盛り上げるためにどんなことができるかを話し合い、学生や若者が起業などのチャレンジができる居場所づくり、相模大野中央公園を活用したスポーツや食のイベントなどを、「相模大野シビックアクションプラン」として、宣言しました。

第2ステップとなる今回の「みんなで盛り上げよう！オーノにぎわいワークショップ」

では、地域主体の持続可能なまちづくり活動につなげるため、実際に市民の皆さんが主体となって、事業の企画から運営まで一貫して携わり、公共的空間を使った企画を実践することを目指しています。第1ステップに引き続き、ファシリテーターのこいずみまゆいち小泉瑛一さんの案内のもと、ワークショップは進んでいきます。

第3回は、5月21日(日)に南区合同庁舎にて開催されました。参加者は、前回のワークショップ以降もミーティングを行い、企画を練ってきました。今回はワークショップにゲストを招いてプレゼンを行い、企画実施に向けて、仲間を増やしていきます！

# 想いを伝えて巻き込もう

第3回ワークショップのテーマは「想いを伝えて巻き込もう」。  
相模大野で活動するまちなか関係者や、企画に巻き込みたい人たちを  
ゲストとしてワークショップに招待し、企画のプレゼンを行いました。  
参加者の企画をよりブラッシュアップしていきます。

## さがみはら夢のトビラ —夜の中央公園 宇宙の旅—

「カルチャー＋ワーク＋子育て」チームは、子供と地域に着目した企画イベント『さがみはら夢のトビラ 一夜の中央公園 宇宙の旅—』をプレゼン。このイベントを子育て世代の交流のきっかけや、自分たちの暮らす相模原の魅力を知ってもらう機会にしたい、と意気込みを語りました。また、イベントに参加する子供たちには、宇宙のことを知って好奇心を育む機会を提供。イベントは夕方から夜にかけて、相模大野中央公園での実施を考え、“夜の公園”という子供たちにとって特別感のある空間に。イベントの

内容は、「宇宙に関する絵本の読み聞かせ」・「宇宙食の試食」・「工作」の3つを行います。読み聞かせで子供の好奇心・発想力を育て、宇宙食の試食で宇宙を身近に感じ、工作では作品を持ち帰ってもらうことでその後も思い出に残るイベントにしたいと話しました。工作する“コスモスティック”はアフリカの民族楽器“レインスティック”を参考に、宇宙と掛け合わせ、天の川が流れる音を連想させるという意味を込めて参加者が命名。プレゼンでは実際にレインスティックを使って、その音を披露しました。



←“レインスティック”  
アフリカ・中南米の民族楽器。雨が降っているような音がするため、その名がついた。



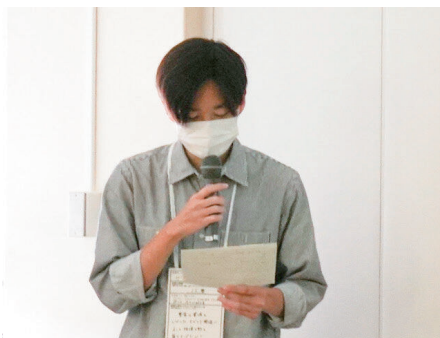
ゲストからのフィードバックでは、子育て広場たんとう、相模原市立博物館や相模大野ステーションスクエアの担当者からコメントをいただき、「宇宙は非常に遠い世界であるため扱うのが難しい。なぜ相模大野でやるのか。相模大野を盛り上げたい気持ちと宇宙というテーマがも

う少し繋がるといい。」「夜の屋外での読み聞かせ・工作は、日中と環境が異なる。暗い中での安全面などにも注意が必要。企画をどのように実現させるか、ぜひ考えてほしい。」と、今後の企画のブラッシュアップをしていく上でのアドバイスをいただきました。

## 親子で楽しくカラダを動かそう！ IN 相模大野

「アウトドア・スポーツ+グルメ・マルシェ」チームは、スポーツと食に着目した企画イベント『親子で楽しくカラダを動かそう in 相模大野』をプレゼン。「運動があまり得意ではない子供をターゲットに考え、イベントを通じてカラダを動かすことの楽しさを実感してもらい、チャレンジするきっかけを作りたい。また、地域コミュニティを活性化させ、相模大野ににぎわいを創出させたい。」と企画の意図を説明しました。イベントの内容は、コリドー街を駆け抜ける走り方講座や、相模大野中央公園でのス

ポーツ体験の実施を検討。相模原には4つのホームタウンチームがあるため、地元のスポーツ選手と一緒にスポーツ体験をすることで、スポーツへの関心を育み、また、ホームタウンチームに愛着を持ってほしい、と話しました。カラダを動かした後は参加者全員でごはんを食べる時間を設け、地域コミュニティを広げていきます。こちらは地元商店街や相模女子大学とコラボレーションを企画し、共同で地元を盛り上げたいと、ゲストへ協力をお願いしました。



ゲストからのフィードバックでは、ノジマ相模原ライズをはじめとしたホームタウンチームやボート相模大野の担当者から意見をいただき、「小学校での実施などではなく、地域を巻き込んで参加してもらおう点でハードルが高そう」「運動に食を絡める有意義なイベン

トである。健康についてみんな考えられるようなイベントにできたらよい。」「商店街という普段走れないところでの走り方講座は子供たちにとってインパクトのあるイベントになる」「運動が苦手な子を対象に開催しても思うように参加者が集まらず、難しさを感じてい

るので、各ホームタウンチームの特徴を活かすなど別の視点からのアプローチを考えてもいいのでは」などのアドバイスとともに、イベントへの協力に対して前向きな返答を得ることができました。

プレゼン終了後は、ゲストもチームミーティングへ参加し、企画をブラッシュアップ！各チームでは、大きなワークシートを広げ、自分たちが企画したイベントを、自分たち、参加者、協力してくれる関係者、相模大野

というまち、の四方にとって良いものにする「四方良し」になっているかを意識しながら、話し合いました。ゲストのフィードバックを経て、見つかった課題点をどう解消するかを考えました。

ゲストのフィードバックをもとに、企画内容を変更するのか、修正するのか、色々な方向性をチームで話し合いました。四方良しを目指すために、改めて企画を見つめ直します。

また、次回のワークショップに向けて、スケジュールや参加者の役割の分担なども話し合い、イベント実施に向けて、大きく一歩踏み出すミーティングになりました。



「カルチャー＋ワーク＋子育て」チームは、ゲストからのアドバイスをもとに夜空を見上げる機会を企画にプラスすることを考え、夜開催の安全面への配慮などを今後話し合っていきます。

「アウトドア・スポーツ＋グルメ・マルシェ」チームは、「相模大野を盛り上げる企画を」と商店街を活用した運動会をイメージ。まちに遊びに来た地域住民や、商店街を巻き込んで盛り上げたいと話しました。



かとうひろみ  
加藤宏美南区長

第3回ワークショップが終了！

かとうひろみ  
加藤宏美南区長からは、両チームのターゲット層が子供であったことに対して、「一石二鳥という言葉のように、子供が楽しいだけでなく付き添った保護者も参加して楽しめる企画になるといい」とフィードバックをいただきま

した。

次回、第4回ワークショップは、7月22日(土)にユニコムプラザさがみはらにて開催を予定しています！第4回では、イベントの空間設計など、実現に向けてより詳しく内容を詰めていきます！まちなかでの実践までもう少し！ぜひ楽しみに。

みんなで盛り上げよう！

オーノにぎわいワークショップ NEWS 第3号

発行日 2023年6月30日

作成 さがまち学生クラブ 大津優衣

発行 相模原市 南区役所地域振興課

TEL:042-749-2135

E-mail: m-chiikishinkou@city.sagamihara.kanagawa.jp